関 中 学 校 だ よ り

第３号　令和７年６月17日
ホームページアドレス http://www.seki-j.nerima-tky.ed.jp/

関中学校の運動会　～ 勝ち負けだけでない部分 ～

校長 堤 智一

素晴らしい天気に恵まれた６月７日（土）、関中学校第51回運動会が盛大に開催されました。雨で十分に練習ができない日があったり、３年生の修学旅行が５月26日（月）～28日（水）まであったりと、必ずしも全集中し、十分な練習ができたとは言えない部分があったかもしれませんが、当日はそんな不安も見事に払拭された、素晴らしい運動会となりました。

運動会は、オリンピックやワールドカップなどとは異なり、その種目のトップアスリートが集い最高レベルの競技をするわけではありません。中学校の場合、どこにでもいる中学生が、それぞれの中学校の校庭で、決して多くはない限られた練習時間を使って練習し、当日を迎えます。

これまで30年近く、コロナ禍以外は毎年欠かさず運動会に関わってきた私ではありますが、今年は初めて関中学校の運動会を見ました。それは大変素晴らしく、校長として誇らしく思えるものでした。

運動会の予行で私は、生徒の皆さんにハンバーガーを例にとり、自分が出場する種目の演技を肉（パティ）とするならば、肉のおいしさはもちろん、パン（バンズ）やハンバーガーを包む包み紙、そしてハンバーガーを食べる店内や店員の雰囲気まで行き届いた最高のハンバーガー、つまり最高の運動会にしてほしい、という話をしました。

そんな話をした数日後に行われた運動会は、私の期待を大きく超えるものでした。どの生徒も真剣な表情で最後まで全力で取り組んでいたからです。

個人種目では、放送担当の生徒が選手一人一人を紹介し、選手は手を挙げ一礼します。観客席の生徒は選手に大きな声援を送ります。団体種目の全員リレーでは、大きな差をつけられてしまったチームもアンカーの選手まで全力で駆け抜けていました。アンカーの選手を最後まで必死に応援していたチームメイトの姿がそこにはありました。それだけではありません。先にゴールしたライバルであるはずのチームの選手、そして観客席の生徒も、最後の選手がゴールするまで懸命に応援する姿が、すべての種目で見られたのです。

先に紹介した放送担当だけでなく、熱中症対策で選手にミストをかける生徒、競技の進行をスムーズなものにする用具担当の生徒、当日の朝早くにテントを準備したり、トラックの線を引いたりする生徒など、様々な場面で一人一人が頑張る姿を見て私は、やっぱり運動会っていいな、と心から思うことができました。

これからも関中学校では勝ち負けが全てではない、一人一人が輝くことのできる場を提供していきたいと考えておりますので、今後とも本校の教育活動への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

3年修学旅行（5/26~28）

修学旅行は奈良・京都に行きました。2年生のうちからテーマを考え、そのテーマに沿ったコースを自分たちで議論して決めました。京都市内はインバウンドによるオーバーツーリズム対策として、路線バスを極力使わず電車（市営地下鉄や京阪電車）を利用しました。修学旅行の2日目、3日目は8:30には宿を出発し、少しでも混雑を避ける工夫をしました。

奈良公園にはたくさんの鹿

京都といえば「清水寺」

やはり人気の伏見稲荷

合格祈願も忘れずに

２日目の夕飯はすき焼き

体験学習も行いました

第51回運動会（6/7）

当日は1,000名を超える方々にお越しいただき、盛大に実施することができました。PTA の OB 会組織である「つばさの会」の方々が、今年も給水所を設営し、熱中症対策に御協力をいただきました。今年は3年修学旅行の日程の関係で6月に開催になりましたが、好天に恵まれての実施でした。観覧に際しては学年優先時間に御協力いただきありがとうございました。

短距離走

大縄跳び

全員リレー

RAFT FROW

台風の目

GO！GO トレイン！！！